

令和6年2月29日に、「令和5年度 善徳地区地すべり対策検討委員会」を開催しました。本委員会は、善徳地区地すべり対策事業を着実かつ効率的に進めていくために、対策の実施計画の検討、対策の効果評価等について、有識者から助言等をいただくことを目的としています。

開催概要

- 実施日：令和6年2月29日(木) 9:00～12:00
- 場所：四国山地砂防事務所 1階会議室
- 委員（敬称略、五十音順、◎：委員長）
 - 木村 諤 愛媛大学大学院 農学研究科 助教授
 - 佐藤 剛 東京都市大学 環境学部 環境経営システム学科 教授
 - 杉本 宏之 国立研究開発法人 土木研究所 土砂管理研究グループ 地すべりチーム上席研究員
 - 西山 賢一 徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授
 - 古谷 元 富山県立大学 工学部 教授
 - ◎丸井 英明 新潟大学 名誉教授
公益社団法人 日本地すべり学会 元会長
 - 山崎 新太郎 京都大学防災研究所 斜面未災学研究センター 准教授
- 内容：
 - ・善徳地区地すべりの概要
 - ・令和4年度現地説明会の概要及び指摘事項対応状況
 - ・対策工施工状況及び観測状況
 - ・現状の課題及びその対応状況

有識者からの主な助言等

- 善徳地区は、浅い動きと深い動きがある複雑な地すべりであるため、地下水位や地すべり変動等の観測データの整理・解釈を引き続き注意深く実施する必要がある。
- 既往の水質分析結果等から、地すべり滑動に起因する地下水を把握した上で、効率的な対策を実施する必要がある。



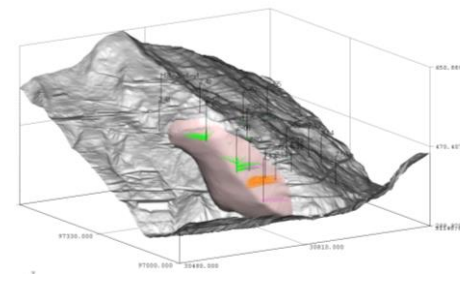
丸井委員長による挨拶
(手前：事務局、奥：委員)



四国山地砂防事務所
野村所長による挨拶



善徳地区 全景



Z2-1(F)ブロックの3Dモデル